

平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	競争的資金調整経費	担当部局庁	研究振興局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成19年度～未定	担当課室	振興企画課 競争的資金調整室	競争的資金調整室長 齊藤 康志				
会計区分	一般会計	政策・施策名	科学技術・学術政策の総合的な推進 VII-3 科学技術システム改革の先導					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン(実施基準)【平成19年2月15日文部科学大臣決定】					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	大学等の研究機関で管理されている競争的資金等研究費の不正使用を防止するため、研究機関における研究費の管理・監査体制の構築を促進する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	○文部科学省の研究費受給機関に対し、機関における研究費の管理・監査体制の報告書の提出を求めるとともに、現地調査等も行った上で、体制整備状況を分析結果報告書として取りまとめ、研修会により周知する。また、機関における管理・監査体制の整備状況の確認においては、調査結果を公表し、体制整備に不備があった機関に対して、改善に向けた指導を行う。 ○「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン(実施基準)」のフォローアップに係る指導・助言を得るため、有識者会議を開催する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	10.5	9.2	9.2	8.4	9.0	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	10.5	9.2	9.2	8.4	9.0	
	執行額	4.8	5.5	6.3	-	-		
	執行率(%)	45.7%	59.8%	68.5%	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)	
	-		成果実績	-	-	-	-	
	-		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	体制整備状況の調査実施機関数		活動実績 (当初見込み)	機関	65	61 (75)	32 (65)	- (50)
	51,378(円/機関)		算出根拠	平成24年度について、職員旅費・委員等旅費・諸謝金のうち、体制整備状況調査として執行した額(1,644,090円)を、体制整備状況調査の実施機関数(32機関)で除したもの				
平成25・26年度 予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	庁費	3.9百万円	3.3百万円	庁費の減額は、研修会の実施に係る経費の効率化によるものである。また、職員旅費の減額と委員等旅費の増額は、ガイドラインに基づく履行状況調査における調査対象機関の増加等によるものである。				
	職員旅費	2.7百万円	2.0百万円					
	諸謝金	0.7百万円	2.0百万円					
	委員等旅費	1.0百万円	1.7百万円					
計	8.4百万円 <small>※四捨五入の關係で計が合わない</small>	9.0百万円						

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	公的研究費の不正な使用は、公金の浪費、研究活動に対する国民の信頼の損失等から、我が国の科学技術振興全体に悪影響を及ぼす大きな問題である。そのため、研究費の不正使用の防止については、国として、研究機関における研究費の管理・監査体制の構築を促進することが重要である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		-			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	事業の目的を達成するために必要な、ガイドラインに基づく履行状況調査の実施、有識者会議、研修会の開催などに対し、適切に支出を行っているところである。不用率が大きくなっている理由は、研究費の不正使用が発覚し、ガイドラインに基づく改善指導や是正措置が必要な研究機関が緊急に発生した場合に備えて、予算の確保を行ったためである。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
事業の有効性	競争率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	研究費の不正使用の防止については、研究機関における研究費の管理・監査体制の構築の促進が重要であり、国が直接、調査の実施、研修会の開催等を行っていることから、実効性の高い事業となっている。また、平成24年度は、不正があった機関に対して、不正の発生要因を詳細に把握するため、ガイドラインに基づく履行状況調査を実施したため、調査機関数は当初の見込みに達しなかったが、例年に比べ、よりきめ細やかな状況を把握することができた。さらに、体制整備状況調査の結果や機関からの報告書を基に、有識者会議の議論を踏まえて分析結果報告書を作成・公表するほか、機関に対する研修会を全国8箇所(約5300人が参加)で開催する等、機関における研究費の管理・監査体制の構築の促進を促している。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		△			
重複排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)</p> <p>体制整備状況の調査について、対象機関の選定、調査結果の分析、機関に対する改善指導等を、有識者会議での議論を踏まえて効果的・効率的に実施している。</p> <p>また、研究機関の事務担当者を対象とした研修会についても、内容や実施場所・回数について精査し、効率的に実施している。今後は、当室が実施している研修会以外にも、更に実効性を高めるため、制度所管課が実施する公募説明会等との合同開催や、大学関係団体が実施する研究機関事務担当者を対象とした研修会等へ同行し、研究費の不正使用防止に関する周知を検討する。</p>					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	<p>1. 事業評価の観点:この事業は、文部科学省研究費の受給機関より管理・監査体制の報告書を提出させるとともに、現地調査等も行った上で体制整備状況を分析結果報告書としてまとめ、研修会により周知するとともに、公的研究費の管理・監査ガイドラインのフォローアップに係る指導助言を得るため、有識者会議を開催するものであり、予算執行状況、長期継続事業の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見:本事業は、平成19年度以降長期に継続している事業であり、ガイドラインに基づく改善指導や是正措置が緊急に必要な場合に備えるなどの理由により一定程度の不用が生じることは理解できるが、事業の効率的な実施を目指し、不用の要因等を精査し、予算の見直しを図るべきである。</p>					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮減	<p>研究機関の事務担当者等を対象とした研修会について、平成24年度は当室が単独で実施していたが、研修会の効率的な実施と実効性の向上を目的とし、平成26年度は、内容や開催場所・回数について精査した上で、当室開催の研修会に加え、制度所管課が実施する公募要領説明会等との合同開催や、大学関係団体が実施する研修会等へ同行することとし、概算要求に▲1百万円反映した。</p>					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	0210	平成23年	0223	平成24年	0240

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

A. 文部科学省
(6.3百万円)

庁費 3.2百万円
職員旅費 1.6百万円
諸謝金 0.7百万円
委員等旅費 0.8百万円 } を含む

ガイドラインを踏まえた大学等
研究機関における公的研究費
の管理・監査の体制の整備状
況についての確認(履行状況
調査を含む)、分析、指導、是
正措置に関する助言等を行う
ための経費

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位:百万
円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.文部科学省			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
庁費	研修会の会場借料、配付資料印刷製本費等	3.2			
職員旅費	履行状況調査や現地調査、研修会のための旅費	1.6			
委員等旅費	履行状況調査や有識者会議等のための旅費	0.8			
諸謝金	履行状況調査や有識者会議の謝金	0.7			
計		6.3	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0